1 この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語科	科目	基礎小論文	単位	1 単位
対象コース	カレッジコース文系 コース	対象クラス	3 年	3C文系 組	
使用教科書	小論文実力養成講座 ステップアップ小論文 （第一学習社）				
使用副教材	特化型小論文チャレンジノート〈志望理由・自己PR編〉（第一学習社）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

自分の考えを相手に正しく伝えることを目的とします。文章表現の基礎から始まり、より充実した内容の小論文の書き方を身につけていきます。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

様々な問題について、自分の考えをもち、それを理解してもらうためにはどのような表現方法をとるのが一番適切かを、実際に文章を書くことによって学ぶます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校

テーマに対するアプローチ、考え方を確認しながら、文章の書き方や論の展開の仕方を修得します。

(2)家庭

家庭では、新聞や雑誌などのメディアを通じて、課題に関する情報を集め、学校の演習の時間にそれを活用して書くことになります。

3 この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

原稿用紙の使い方・誤字脱字の有無・書き方のパターン・内容などを教科担当者が読み、一人ひとりの課題文を添削し、評価をつけて返却します。定期考査は実施しません。

評価における定期考査の割合

%

4 この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度

結論を導き出し、最後まで書き終えようとする態度を評価します。

(2)思考・判断

結論を導くために合理的、客観的な例を示せるかを評価します。

(3)技能・表現

結論を理解してもらうために読み手を考えた表現を示せるかを評価します。

(4)知識・理解

正しい表現技法、文字、言葉遣いが出来ているかを評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	小論文とは何か	作文と小論文の違いを認識し、小論文についての基礎的な考え方を確認します。	●	●			
		書く素材を見つける	絵や写真を見て、自分はその中の何を表現するかを考えます。その内容が状況を的確につかむことにかなっているかを考えます。	●	●		●	
		設問のポイントを読み取る	自分の見方、考え方を述べる際に、設問の要求に合っているものかを考えます。	●	●		●	
		別の視点からも考える	物事の良い面、悪い面を対立的にとらえることによって物事を深く見つめ、問題解決へと導くことができるようにします。	●	●		●	
	5	原因を明らかにする	原因や背景を分析することによって、書く内容を深めます。	●		●		
		文章内容を要約する	文章全体の要旨を押さえ、主題を把握できるようにします。	●	●	●	●	
		データ型小論文の書き方	データを読み取り、問題点と解決策を論述します。数値の最大、最小に注目し、変化の度合いに気がつくようにします。	●	●	●		
	6	小論文はどう書くのか	小論文を書くプロセスを確認します。	●	●			
		課題分を理解する	課題文を正確に読み取り、それを活かした論述を展開します。	●	●	●	●	
	7	自分の考えを明確にする	身近な問題、社会的問題二つの場合に合わせた書き方で書きます。	●	●	●	●	
2	8	具体的説明で根拠を示す	原因や理由の説明が必要であることを理解します。適切な具体例の探し方を学びます。	●	●	●	●	
	9	効果的な段落構成	読み手に効果的に自分の意見伝えるために、効果的な段落構成で論述する練習をします。	●	●	●		
		推敲の仕方と評価の基準	推敲の仕方や評価の基準を知ることによって、自分の文章を客観的に見る力を養います。	●	●			
	10	実践力を養う （１）情報化社会 道徳	入試過去問を実際に書いてみることにより、完成度の高い小論文を目指します。（データ型、要約問題付課題文型、融合型など）	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
	11	（２）教育問題 						
		（３）食生活 						
	12	（４）科学 						
		（５）法律 						
3	1	（６）社会問題 						

【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック

【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン

道徳教育アイコン

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン

道徳教育アイコン

1 この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代文B	単位	4 単位
対象コース	カレッジ コース	対象クラス	3 年	1 組	
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文Ｂ（第一学習社）				
使用副教材	３ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版（尚文出版） 大学入試共通テスト国語対策問題集				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

（１）近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
（２）分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

（１）現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。
（２）近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。
（３）受験問題（大学入試共通テスト）レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校
・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノート記録を充実させましょう。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。
・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、授業の何よりの手柄です。みなさんの「気づき」が、文章を読み取る手がかりとなりますし、クラスメートと意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。

(2)家庭
・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。
・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。知識を丸暗記するだけの学習では不適切です。正解した問題でも、もっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか
（１）定期考査→年４回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。
（２）授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。
（３）長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。
（４）学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。

評価における定期考査の割合
70 %

4 この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度
・問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。

(2)思考・判断
・合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。

(3)技能・表現
・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4)知識・理解
・定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井　克人 	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。具体と抽象をふまえ、文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。また、自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	5	小説（一）「檸檬」 梶井　基次郎	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法を習熟させます。小説の構造をふまえて、登場人物の心情の変化を	●	●	●		
		評論（二） 「言語が見せる世界」 野矢　茂樹	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。対比による文章の論理展開をふまえ、筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	6	詩 「足と心」中桐　雅夫 「冬の日」以倉　紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原　朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを	●	●		●	
		評論（三） 「身体の個別性」浜田　寿美男 「目に見える制度と見えない制度」中村　雄二郎 	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術に習熟します。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	7	小説（二） 「舞姫」森　鴎外 	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8 9	評論（五） 「『である』ことと『する』こと」 丸山　真男	論理的な文章の構成・論の展開を正確に把握して、大意や要旨を的確に理解する力を身につけます。また、現代社会に生きる市民として、どのようにあるべきかについて、自らの考えを深めます。	●	●	●	●	
		小説（三） 「枯野抄」芥川 龍之介 **道徳**	完成度の高い短編小説を読むことで、表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語りの方法、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他者との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。	●	●		●	
	10	入試対策問題演習	問題集を用いた演習を行い、大学入試共通テストおよび大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。	●	●	●	●	

【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック

【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン

道徳教育アイコン

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン

道徳教育アイコン

1 この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代文B	単位	3 単位
対象コース	カレッジ コース	対象クラス	3 年	３組 理MC	
使用教科書	高等学校 現代文Ｂ（第一学習社）				
使用副教材	３ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版（尚文出版）大学入試共通テスト国語対策問題集				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

（１）近現代のすぐれた文章を読み、豊かな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語の力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
（２）分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

（１）現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。
（２）近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を養います。
（３）受験問題（大学入試共通テスト）レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校
・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノートの記録を充実させましょう。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。
・授業担当者の問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことなどの「気づき」が文章を読み取る手がかりとなりますし、他の人と意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。

(2)家庭
・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。
・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。習ったことをもっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか
（１）定期考査→年４回実施します。主に授業での学習内容から出題します。
（２）授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、回収して点検・評価します。
（３）長期休暇中の課題→演習問題などを宿題として課します。
（４）学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の課題を出します。

評価における定期考査の割合

70 %

4 この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度
・問題を解決しようとする意欲、考えようとする態度を重視します。

(2)思考・判断
・思考が合理的であるか客観的に判断しているかを見ます。

(3)技能・表現
・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4)知識・理解
・定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みも評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一）「写真の持つ力」 長倉　洋海 	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。文章の論理展開を把握し、筆者の主張を理解します。また自分なりの意見を持つことによって、より深い読解へと反映させます。	●	●	●	●	
	5	詩 「足と心」　　中桐 雅夫 「冬の日」　　以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学び、その中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法を学びます。	●	●		●	
	6	小説（一）「檸檬」　梶井　基次郎	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法に慣れます。優れた構成・表現・豊かな語彙を持つ小説を読解することで、小説を味わいながら、登場人物の心情を推察し、自己の存在と内面について考えます。	●	●	●		
	7	評論（二）「いのちのかたち」 西谷 修 道徳	現代の評論を理解する上で基礎となるテーマ、あるいは今日的な問題についての意識を深めます。生命倫理的な意味における「いのち」をどう捉えるか、物理化学的な一般論として扱われる「生命」とは異なる意味での生命について考え、「人間的」な生き方とは何なのか考察を深めます。	●	●		●	
2	8 9	評論（三） 「身体の個別性」 浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」 中村 雄二郎	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術を身につけます。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な抽象的思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	10	小説（二） 「舞姫」　　森　鴎外 道徳	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2 3	11 12 1	入試対策問題演習	問題集を用いた演習を行い、大学入試共通テストおよび大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。	●	●	●	●	

6
安全な水とトイレ
を世界中に
12
つくる責任
つかう責任
17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1 この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代文B	単位	3 単位
対象コース	情報ビジネス コース	対象クラス	3 年	4 組	
使用教科書	高等学校 現代文Ｂ（第一学習社）				
使用副教材	３ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版（尚文出版）大学入試共通テスト国語対策問題集				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

（１）近現代のすぐれた文章を読み、豊かな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語の力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
（２）分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

（１）現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。
（２）近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を養います。
（３）受験問題（大学入試共通テスト）レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校
・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノートの記録を充実させましょう。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。
・授業担当者の問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことなどの「気づき」が文章を読み取る手がかりとなりますし、他の人と意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。

(2)家庭
・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。
・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。習ったことをもっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

（１）定期考査→年４回実施します。主に授業での学習内容から出題します。
（２）授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、回収して点検・評価します。
（３）長期休暇中の課題→演習問題などを宿題として課します。
（４）学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の課題を出します。

評価における定期考査の割合

70 %

4 この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度
・問題を解決しようとする意欲、考えようとする態度を重視します。

(2)思考・判断
・思考が合理的であるか客観的に判断しているかを見ます。

(3)技能・表現
・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4)知識・理解
・定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みも評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一）「写真の持つ力」 長倉　洋海 	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。文章の論理展開を把握し、筆者の主張を理解します。また自分なりの意見を持つことによって、より深い読解へと反映させます。	●	●	●	●	
	5	詩 「足と心」　　中桐 雅夫 「冬の日」　　以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学び、その中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法を学びます。	●	●		●	
	6	小説（一）「檸檬」　梶井　基次郎	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法に慣れます。優れた構成・表現・豊かな語彙を持つ小説を読解することで、小説を味わいながら、登場人物の心情を推察し、自己の存在と内面について考えます。	●	●	●		
	7	評論（二）「いのちのかたち」 西谷 修 道徳	現代の評論を理解する上で基礎となるテーマ、あるいは今日的な問題についての意識を深めます。生命倫理的な意味における「いのち」をどう捉えるか、物理化学的な一般論として扱われる「生命」とは異なる意味での生命について考え、「人間的」な生き方とは何なのか考察を深めます。	●	●		●	
2	8 9	評論（三） 「身体の個別性」 浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」 中村 雄二郎	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術を身につけます。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な抽象的思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	10	小説（二） 「舞姫」　　森　鴎外 	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	11	小説（三） 「幼なじみたち」　遠藤周作 **道徳**	生きることの多様な意味や価値を描いた小説をとおして、自分の人生に対する見方や考え方を学びます。また、他者を理解するためには何が必要なのかを考え、身近な他者理解につなげます。	●	●	●	●	
	12	評論（五） 「である」ことと「する」こと　　丸山真男	キーワードを手掛かりにした大まかな内容把握の仕方を確認します。中心文を見つけ段落の組み立てを理解するとともに、段落相互の関係を整理し、文章全体の構成を明らかにします。	●	●	●		
3	1	以上の他に、表現力・語彙力をつけるための授業を実施します。						

6
安全な水とトイレ
を世界中に
12
つくる責任
つかう責任
17
パートナーシップで
目標を達成しよう

6
安全な水とトイレ
を世界中に

12
つくる責任
つかう責任

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

16
平和と公正を
すべての人に

1　この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代文B	単位	3　単位
対象コース	美術　コース	対象クラス	3　年	５・６　組	
使用教科書	高等学校 現代文Ｂ（第一学習社）				
使用副教材	３ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版（尚文出版）大学入試共通テスト国語対策問題集				

2　この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

（１）近現代のすぐれた文章を読み、豊かな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語の力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
（２）分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

（１）現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。
（２）近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を養います。
（３）受験問題（大学入試共通テスト）レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校
・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノートの記録を充実させましょう。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。
・授業担当者の問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことなどの「気づき」が文章を読み取る手がかりとなりますし、他の人と意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。

(2)家庭
・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。
・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。習ったことをもっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3　この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

（１）定期考査→年４回実施します。主に授業での学習内容から出題します。
（２）授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、回収して点検・評価します。
（３）長期休暇中の課題→演習問題などを宿題として課します。
（４）学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の課題を出します。

評価における定期考査の割合

70　%

4　この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度
・問題を解決しようとする意欲、考えようとする態度を重視します。

(2)思考・判断
・思考が合理的であるか客観的に判断しているかを見ます。

(3)技能・表現
・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4)知識・理解
・定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みも評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容	重視する評価の観点 関	思	技	知	CHECK ○△×
1	4	評論（一）「写真の持つ力」 長倉　洋海 	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。文章の論理展開を把握し、筆者の主張を理解します。また自分なりの意見を持つことによって、より深い読解へと反映させます。	●	●	●	●	
	5	詩 「足と心」　　中桐 雅夫 「冬の日」　　以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学び、その中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法を学びます。	●	●		●	
	6	小説（一）「檸檬」　梶井　基次郎	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法に慣れます。優れた構成・表現・豊かな語彙を持つ小説を読解することで、小説を味わいながら、登場人物の心情を推察し、自己の存在と内面について考えます。	●	●	●		
	7	評論（二）「いのちのかたち」 西谷 修 道徳	現代の評論を理解する上で基礎となるテーマ、あるいは今日的な問題についての意識を深めます。生命倫理的な意味における「いのち」をどう捉えるか、物理化学的な一般論として扱われる「生命」とは異なる意味での生命について考え、「人間的」な生き方とは何なのか考察を深めます。	●	●		●	
2	8 9	評論（三） 「身体の個別性」 浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」 中村 雄二郎	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術を身につけます。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な抽象的思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	10	小説（二） 「舞姫」　　森　鴎外 道徳	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2 3	11 12 1	入試対策問題演習 以上の他に、表現力・語彙力をつけるための授業を実施します。	問題集を用いた演習を行い、大学入試共通テストおよび大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。	●	●	●	●	

6
安全な水とトイレ
を世界中に
12
つくる責任
つかう責任
17
パートナーシップで
目標を達成しよう

6
安全な水とトイレ
を世界中に

12
つくる責任
つかう責任

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

16
平和と公正を
すべての人に

1　この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位	2　単位
対象コース	カレッジ　コース	対象クラス	3　年	3C理系　組	
使用教科書	精選　古典Ｂ　改訂版（大修館書店）				
使用副教材	体系古典文法（数研出版） 新明説漢文（尚文出版） シンプルスタイル　古文単語３01（尚文出版）				

2　この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

以下の二つの分野を学びます。
（１）古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。
（２）漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校
授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書きためましょう。なぜその答えになるのかということを論理的に捉えることが大切です。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。

(2)家庭
授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3　この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか
（１）定期考査→年４回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。
（２）確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。
（３）学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。

評価における定期考査の割合

70　　%

4　この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度

問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。

(2)思考・判断

合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。

(3)技能・表現

口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4)知識・理解

定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
一	4	古文編Ⅱ　説話 古今著聞集 『源義家、衣川 にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
	5	漢文編Ⅱ　逸話と寓話 『不死之薬』 道徳	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
	6 7	古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
	8	古文編Ⅱ　物語（1） 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の用い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
二	9 １０	漢文編Ⅱ　史伝　荊軻 『（一）風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
	１１	古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
	１２	漢文編Ⅱ　文章 韓愈『師説』 	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。	●	●	●	●	
三	１	入試対策問題演習	副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせになることのないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。			●	●	

【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック

【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン

道徳教育アイコン

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に

コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン

道徳教育アイコン

1 この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語科	科目	古典B	単位	2 単位
対象コース	情報ビジネス コース	対象クラス	3 年	4 組	
使用教科書	精選 古典B 改訂版（大修館書店）				
使用副教材	体系古典文法（数研出版） 新明説漢文（尚文出版） シンプルスタイル 古文単語３０１（尚文出版）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身に付けます。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

以下の二つの分野を学びます。
（１）古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身に付けます。
（２）漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身に付けます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校
「考える手順」を身に付けることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得していきましょう。

(2)家庭
家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

3 この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

（１）定期考査→年4回実施します。授業での学習内容を中心に出題します。
（２）授業用ノート→授業時の宿題や板書事項の内容について、回収して点検・評価します。
（３）長期休暇中の課題→演習問題を宿題として課します。
（４）学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。

評価における定期考査の割合

70 %

4 この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度
問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。

(2)思考・判断
合理的であるか否かが評価の軸となります。客観的に思考することが必要です。

(3)技能・表現
口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4)知識・理解
定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みも評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	古今著聞集 『源義家、衣川にて』 	古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世説話に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典に親しむ態度を育てます。	●		●	●	
	5	逸話と寓話 『長安何如日遠』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、登場人物の生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
	6							
	7	大鏡 『三船の才』	歴史物語としての特色である簡潔な文章を読み、作者の的確な心理描写を読み取ります。また、敬語の用い方から、登場人物の関係を正しく捉えます。	●	●		●	
2	8							
	9	思想　諸子百家 『小国寡民』『侵官之害』	「諸子百家」のうち、中心的な位置を占める「儒家」以外の思想に触れます。すでに習った「儒家」の思想との違いを確認するとともに、それぞれの思想の現代的な意義について考え、自身のものの見方、考え方、生き方について深めていきます。	●	●	●	●	
	10	紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、他の日記作品にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●		●	●	
	11							
3	12	雨月物語 『夢王の鯉魚』	古文の長文を読み、古文の読解力を高めます。江戸時代の読み本について知り、当時の文化やその背景も学びます。話の筋を的確に把握しながら読み進めていき、古典を楽しみながら読む態度を養います。	●		●	●	
	1							

【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック

【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン

1 この科目の構成について(改行は Alt + Enter)

教科	国語科	科目	古典B		単位	2 単位
対象コース	美術 コース	対象クラス	3 年	５・６ 組		
使用教科書	精選 古典B 改訂版（大修館書店）					
使用副教材	体系古典文法（数研出版） 新明説漢文（尚文出版） シンプルスタイル 古文単語３０１（尚文出版）					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について(改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身に付けます。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

以下の二つの分野を学びます。
（１）古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身に付けます。
（２）漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身に付けます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1)学校
「考える手順」を身に付けることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得していきましょう。

(2)家庭
家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

3 この科目の評価方法について(改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか
（１）定期考査→年4回実施します。授業での学習内容を中心に出題します。
（２）授業用ノート→授業時の宿題や板書事項の内容について、回収して点検・評価します。
（３）長期休暇中の課題→演習問題を宿題として課します。
（４）学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。

評価における定期考査の割合

70 %

4 この科目の評価の観点について(改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1)関心・意欲・態度
問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。

(2)思考・判断
合理的であるか否かが評価の軸となります。客観的に思考することが必要です。

(3)技能・表現
口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4)知識・理解
定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みも評価します。

5　この科目の学習計画について（改行は Alt + Enter）

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	古今著聞集 『源義家、衣川にて』 	古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世説話に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典に親しむ態度を育てます。	●		●	●	
	5	逸話と寓話 『長安何如日遠』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、登場人物の生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
	6							
	7	大鏡 『三船の才』	歴史物語としての特色である簡潔な文章を読み、作者の的確な心理描写を読み取ります。また、敬語の用い方から、登場人物の関係を正しく捉えます。	●	●		●	
2	8							
	9	思想　諸子百家 『小国寡民』『侵官之害』	「諸子百家」のうち、中心的な位置を占める「儒家」以外の思想に触れます。すでに習った「儒家」の思想との違いを確認するとともに、それぞれの思想の現代的な意義について考え、自身のものの見方、考え方、生き方について深めていきます。	●	●	●	●	
	10	紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、他の日記作品にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●		●	●	
	11							
3	12	雨月物語 『夢王の鯉魚』	古文の長文を読み、古文の読解力を高めます。江戸時代の読み本について知り、当時の文化やその背景も学びます。話の筋を的確に把握しながら読み進めていき、古典を楽しみながら読む態度を養います。	●		●	●	
	1							

【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック

【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン